



謹賀新年 2017



第24回アジアボウリング選手権大会(2016年9月)
女子トリオ戦と男子チーム戦で金メダル

年頭挨拶



スポーツ庁長官 鈴木 大地

平成二十九年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

スポーツは、人類の歴史の中でその時代時代に合わせて発展を遂げながら、常に人々に感動や共感、活力をもたらし、また時として国や社会を変えるほどの大きな魅力・潜在力を発揮するなど、人類共通の文化であると言えます。

現在ボウリング競技は、子供から高齢者まで幅広い年齢層の多くの人々から広く親しまれ、生涯スポーツとして

愛好されるとともに、高い技術が必要とする競技スポーツでもあります。昨年七月に米国で開催された第十四回世界ユースボウリング選手権大会においては、男子チーム戦銅メダル、女子マスタース戦銅メダルを、また、九月に香港で開催された第二十四回アジアボウリング選手権大会においては、男子5人チーム戦と女子3人チーム戦で、8大会ぶりとなる金メダルを含む合計四つのメダルを獲得するなど好成績を収められました。これもひとえに選手の皆様の日々のたゆまぬ努力と貴協会の御尽力の賜物と深く敬意を表する次第です。

さて、昨年の十月でスポーツ庁も一周年を迎えました。スポーツ庁は、スポーツを通じた社会の発展を目指し、関係官庁の中核となって、スポーツ行政を総合的・一体的に行うことを使命とし、国内の各競技団体やアスリート、地方公共団体はもとより、IOCをは

じめ国際スポーツ団体の役員とも積極的に交流し、各分野の政策課題や対応策について議論を重ねてきました。

現在我が国では、四年後の二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、大会準備やメダル獲得に向けた選手強化等にオールジャパン体制で取り組んでいるところで、この二〇二〇年を中心に、国民のスポーツに対する関心が今後一層高まっていくことを思います。スポーツ庁としては、この気運の高まりを一過性のものとすることなく、二〇二〇年以降も誰もがスポーツに親しむことのできる環境を整えることが重要であると考えております。

貴協会におかれましては、今後もボウリング競技の競技力向上や普及・発展に努めていただくとともに、国内・国際競技大会等ですます御活躍されることを期待いたします。

結びに、公益財団法人全日本ボウリング協会のさらなる御発展と、関係者のますますの御活躍を祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

新時代は世界が舞台



会長 北川 薫

あけましておめでとございます。皆様方には、ご健勝にて新年をお迎えのこと、お慶び申し上げます。

ボウリングは今、大きな節目を迎えています。国内においては競技環境が厳しくなっている一方、世界的にもスポーツボウリングのあり方に変革が求められています。昨年6月、私は全日本ボウリング協会の会長に就任し、こ

れらの二点を軸に新体制の構築を図っている最中です。

スポーツは、「する」「見る」「支える」の3要素を兼ね備えなければ、盤石な普及はありません。振り返ってみると、我がボウリング界は誰もが気軽にプレーでき爽快感を味わえること、つまり「するスポーツ」としての良さが、ボウリングの魅力であると訴えてきたように思います。それがボウリングというスポーツの最大の強みであることはもちろんのことです。

東京オリンピック・パラリンピックの追加種目が実現できなかった理由の一つは訴求の弱さにあったと考えられます。エリートアスリートが集うオリピックでは、観衆を魅了することが求められるのは当然のこと。そして観

衆を魅了するのは卓越した技術と精神力を持つアスリートでもあります。追加種目問題を通じてボウリングは「見るスポーツ」としての未熟さを突き付けられたとも言えるでしょう。

「支える」点についてはどうでしょうか。支え方にも、コーチングから競技運営、応援まで様々ありますが、ボウリングの場合は、支える人の大半がボウラーだという構図にも問題がありそうです。良くも悪くも、深く関わる人々の輪の中、独自の論理で動いているように思えるのです。

私たちは今、殻を破る、あるいは視野を広げて打開策を見つけていく必要があります。

過去の常識にとらわれていては描けない、新しい、未来につながるボウリング像を追求する1年にしたいと存じます。本年もご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

Season's greetings and best wishes for the New Year.

公益財団法人 日本体育協会

会長 張 富士夫



2017年の年頭にあたり、全国のボウリング愛好者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、第31回オリンピック競技大会（2016/リオデ

ジャネイロ）及び第15回パラリンピック競技大会が盛大に開催され、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、国民のスポーツへの関心がますます高まっていると実感しております。

この様な中、ボウリングは子どもから高齢者まで気軽に楽しめるスポーツとして幅広く愛好され、国民のライフスタイルに合ったスポーツ活動の充実に対し、多大な貢献をされています。競技スポーツの観点からも、国民体育大会や日本スポーツマスターズでの実施はもとより、第40回中学・高校選手権大会では多くの初優勝者が誕生し、加えて

第24回アジア選手権大会の男子チーム戦と女子のトリオ戦においては、ともに8大会ぶりとなる金メダルを獲得されるなど、国内外の数多くの大会においてメダルを獲得し、ボウリング界が大きく発展していることを感じております。

また、ワールドゲームズ2017の出場権を獲得するなど、今年度の盛り上がりも大いに期待されます。これもひとえに、ボウリングの普及と競技方向上に取り組み、着実な発展を遂げて

公益財団法人 日本オリンピック委員会

会長 竹田 恆和



年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、リオデジャネイロで開催された第31回オリンピック競技大会は、1896年の第1回アテネ大会から120年となるオリンピックの歴史において、初めて南アメリカ大陸で開催されました。日本オリンピック委員会では、選手338名、役員263名、総勢601名の日本代表選手団を派遣し、17日間の熱戦の末、前回2012年ロンドン大会の38個を上回る、金12、銀8、銅21、メダル獲得総数41個、入賞者総数88、共に史上最高の成績を収めました。

次回大会は、2020年東京になります。

国民の皆様への関心が高まっていることに喜びを感じると同時に、大会の成功に向け、私達、スポーツに携

わる者はスポーツの持つ力とその価値を次世代を担うアスリートに伝えていく責務がございます。引き続き本会は、スポーツ文化の確立に向け、貴協会とともにオリンピック・ムーブメントの推進を諮

った友情と尊敬の念は人生を豊かにし、オリンピック精神と共に人々の心の中に生き続けて参ります。

ボウリング競技は子どもから高齢者まで世界の人々に親しまれるスポーツとして定着し、現在では15ヵ国・地域に普及しております。また、日本代表選手の正々堂々と競技に挑む姿は、世界に対して活力ある日本の姿を示してくれているだけでなく、日本国民に感動、勇気、そして笑顔を届けてくれます。

結びに、公益財団法人全日本ボウリング協会の益々のご発展とボウリング業界関係者の皆様方のさらなる活躍を心より祈念申し上げます。

また、本会と一層の連携を図っていただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

終わりに、公益財団法人全日本ボウリング協会の益々のご発展と関係各位のご活躍を祈念申し上げ、年頭のご挨拶にかえさせていただきます。

民に感動、勇気、そして笑顔を届けてくれます。

結びに、公益財団法人全日本ボウリング協会の益々のご発展とボウリング業界関係者の皆様方のさらなる活躍を心より祈念申し上げます。

公益社団法人 日本ボウリング場協会

会長 中里 則彦



輝ける二〇一七年の新春を心からお慶び申し上げます。

皆様にはお健やかに引き続き新年をお迎えのこと、弊協会を代表してごあいさつを申し上げます。

本紙上をお借りして厚くお礼を申し上げます。

昨年は四月の熊本地震をはじめ、台風などの自然災害による被害が数多く報道され、今なお多くの人々が支援を求めています。

一日も早い復旧を願うばかりです。

ボウリング業界も、相変わらず厳しい状況が続いておりますが、そのような中、貴団体は昨年、北川薫新会長が就

任のもと、新たな体制でスタートをされました。

二〇一〇東京オリンピック・パラリンピックにおけるボウリング競技の種目化という私たちの永年の夢は叶いませんでしたが、これからもスポーツボウリングを推進するJBCには、力強いリーダーシップを期待しております。

日場協も万全の体制で協力をさせていただきます所存です。

弊協会も、昨年役員改選が行われ、私が四期目の会長を

務めさせていただきますことになりました。

そして、私が会長を統括するために、どうしても必要であったことに着手いたしました。

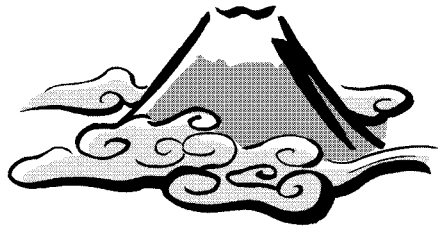
実績があり信頼も厚い若手三名に、新たに副会長に就任していただき、私が会長に就任して以来ずっと申している「強い日場協」を取り戻すため、新たな体制を整えました。

政治的にも経済的にも不透明な時代、明るい光を見出すために業界全団体が一丸とならなければいけない時期なのです。

そして、各団体その準備は既にできていると、私は確信をしています。

あけましておめでとうございます

2017年 元旦



オーディン協議会 会長 熊 和 敏 〒701- 岡山県瀬戸内市長船町長船 1245-1 4271 ☎ 0869-26-8870 FAX 0869-26-8871	日本ボウリング商工会 理事長 川島 幸一郎 〒222- 神奈川県横浜市港北区鳥山町 1259 0035 ☎ 03-3371-2735 FAX 03-3371-2735	全国ボウリング公認 競技場協議会 会長 伊 藤 博 元 〒108- 東京都港区芝浦3-6-10-902 0023 ☎ 03-3453-2725 FAX 03-3798-7375 http://homepage3.nifty.com/jarba/	公益社団法人 日本プロボウリング協会 会長 松 田 秀 樹 〒105- 東京都港区芝浦 1-13-10 0023 第3東運ビル 2F ☎ 03-6436-0310 FAX 03-3454-6140 http://www.jpba.or.jp/	公益社団法人 日本ボウリング場協会 会長 中里 則彦 〒140- 東京都品川区南品川 2-2-10 0004 南品川Nビル 3F ☎ 03-6433-0450 FAX 03-6433-0451 http://www.bowling.or.jp/
株式会社ハイ・スポーツ社 代表取締役社長 川島 幸一郎 〒222- 神奈川県横浜市港北区鳥山町 1259 0035 ☎ 045-471-9445 FAX 045-471-9447 http://www.hi-sp.co.jp	サンブリッジグループ 株式会社サンブリッジ 株式会社サンリッチインターナショナル 代表取締役 橋 本 政 明 〒654- 神戸市須磨区弥栄台1丁目10-3 0161 ☎ 078-797-6230 FAX 078-797-6231 http://www.sunbridge-group.com/	株式会社 アメリカンボウリングサービス 代表取締役会長 渡 邊 保 代表取締役社長 伊 東 正 美 〒143- 東京都大田区北馬込1-1-1 0021 ☎ 03-5718-7111 FAX 03-5718-7112	株式会社エナジックボウル 代表取締役 下 地 賀 寿 守 〒904- 沖縄県中頭郡北谷町美浜 9-8 0115 シーサイドスクエア 2F ☎ 098-926-3939 FAX 098-926-3800 http://www.enagicbowl.com/	パナソニックリビング 首都圏・関東株式会社 代表取締役社長 村 山 智 則 〒104- 東京都中央区築地5丁目6番 10号 0045 浜離宮パークサイドプレイス8F ☎ 03-5565-2400 FAX 03-5565-2410 http://panasonic.co.jp/es/peslsk/
株 式 会 社 ジ ー ン 平 尾 徹 〒150- 東京都渋谷区渋谷 2-2-5 0002 クルスビル 7F ☎ 03-3797-7340 FAX 03-3406-7023 http://www.jeen.co.jp/	ミーフコーポレーション 寺 村 眞 代 〒533- 大阪市東淀川区東淡路2丁目3-28 0023 ☎ 06-6325-1171 FAX 06-6325-1170 teramura@iris.ocn.ne.jp	株式会社 アサヒボウリングサービス 代表取締役 福 森 建 司 〒350- 埼玉県川越市南田島 843-1 0027 ☎ 049-226-4050 FAX 049-226-4061	日本エボナイト株式会社 代表取締役社長 井 上 昭 良 〒144- 東京都大田区西六郷 4-36-5 0056 ☎ 03-3731-2271 FAX 03-3731-2274 http://www.nichi-ebo.co.jp/	レジェンドスター株式会社 代表取締役 高 橋 節 雄 〒182- 東京都調布市深大寺東町 8-2-9 0012 ☎ 042-480-2341 FAX 042-480-2344
東京ボウリング場協会 会長 財 津 澄 子 〒140- 東京都品川区南品川 2-2-10 0004 南品川Nビル 3F ☎ 03-6433-3357 FAX 03-6433-3257	関西ボウリング場協会 会長 大 薮 芳 崇 〒532- 大阪市淀川区西宮原1-7-39 0004 第2メゾン新大阪301 ☎ 06-6392-4890 FAX 06-6397-2976	関東ボウリング場協会 会長 国 本 美 加 〒140- 東京都品川区南品川 2-2-10 0004 南品川Nビル 3F ☎ 03-6433-3357 FAX 03-6433-3257	株式会社 アイワ徽章 代表取締役 村 松 寛 治 〒105- 東京都港区新橋 1- 18 - 12 0004 ☎ 03-3503-0031 FAX 03-3503-0034 http://www.aiwakisho.co.jp/	有限会社イトダネーム 東京支店 代表取締役 井 戸 田 剛 〒162- 東京都新宿区早稲田鶴巻町 545 0041 ☎ 03-5225-3400 FAX 03-5225-3401 http://www.itoda-m.co.jp/
山形県ボウリング公認 競技場協議会 会長 須 藤 政 美 〒999- 東根市神町西 4-6-60 3766 空港ターミナルボウル内 ☎ 0237-47-1611 FAX 0237-47-1610	北海道ボウリング公認 競技場協議会 会長 村 上 倫 行 〒085- 釧路市幸町10丁目1 0017 釧路パレスボウル内 ☎ 0154-24-0311 FAX 0154-24-0314	福岡県公認ボウリング場協会 会長 秀 嶋 康 成 〒811- 福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 1187-1 2413 ☎ 092-410-6911 FAX 092-410-6912	徳島県ボウリング場協会 会長 森 博 史 〒770- 徳島市南末広町 4-95 0865 スエヒロボウル内 ☎ 088-625-2256 FAX 088-652-3052	広島県ボウリング場協会 会長 古 本 和 久 〒731- 広島市佐伯区皆賀4丁目19-6 5124 ミスズガーデン(株)内 ☎ 082-922-5161 FAX 082-922-5132 http://www.bpah.or.jp/

会長 松田 秀樹

早い復興をお祈り申し上げま
す。

当協会は本年も公益社団法人として、公益目的事業の一環である国民の相互理解と親

この50周年を基に、今後も

リンケ協会様をはじめ、関係各位の多大なるご支援ご協力の賜として感謝致しておりま

最後になりますが本年も全日本ボウリング協会北川会長をはじめ貴協会益々のご発展と、JBCC会員皆様方のご健康・ご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、当協会を引き続きご支援、ご協力賜いますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

理事長
川島幸一郎

ました。
もちろん私共、ボウリング商工会としましても皆様が夢や目標を持ち続けることが出来るよう創意工夫しボウリング業界とスポーツボウリング発展に向け皆様と共に歩みを揃えていく所存でございます。

この一年がますます希望と活力に溢れる良き年となりますよう祈念いたしますとともに、皆様方のご多幸とご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

アジアシニア評議会

協会齋藤専務理事が会長に

オリンピック
有望選手

研修会に参加

(公財)日本オリンピック

の有望選手に認定された、全日本ユースナショナルチームメンバーの大林令奈選手（岡山・岡山商科大学附属高校）が参加しました。

栄養や外国語、ソーシャルメディアの活用などについて学びながら、他競技選手との交流を図りました。多くのオリンピックがゲストとして登場し、トップアスリートの体験談を聞きました。

また選手への講習と並行して、指導者向けの研修も行われました。

ナショナルチーム通信

We are Team JAPAN

の有望選手に認定された、全日本ユースナショナルチームメンバーの大林令奈選手（岡山・岡山商科大学附属高校）が参加しました。

本年もよろしくお願い申し上げます

公益財団法人
全日本ボウリング協会

會長 北川 薫

副會長 吉岡英隆

其方

三 委 直

里
事
少
古
口
言
夫

森岡京子

“金安利和”

不 破 但 二

五里

日秦晉

井致孝

西
林
康
靈

米澤満

高橋尚仁

六
十
三
日

二 泰 告 一

三鬼一朗

丹羽秀樹

監事 張乃谷 和年

二〇一七年 元日

第7回 東日本・西日本シニア競技大会

大丸谷石川 & 上芝大阪 が



男子シニア個人総合

2人チーム戦は前半300台のチームが10チーという大激戦で、後半100と打ち上げた祐輔C(喜多)と戦ったが逆転勝利した。個人戦は前半70、後半80で、2人チーム戦は前半70で逆転勝利した。

女子シニア

2人チーム戦は前半300台のチームが10チーという大激戦で、後半100と打ち上げた祐輔C(喜多)と戦ったが逆転勝利した。個人戦は前半70、後半80で、2人チーム戦は前半70で逆転勝利した。



男子グランドシニア個人総合

2人チーム戦は前半300台のチームが10チーという大激戦で、後半100と打ち上げた祐輔C(喜多)と戦ったが逆転勝利した。個人戦は前半70、後半80で、2人チーム戦は前半70で逆転勝利した。

女子グランドシニア個人総合

2人チーム戦は前半300台のチームが10チーという大激戦で、後半100と打ち上げた祐輔C(喜多)と戦ったが逆転勝利した。個人戦は前半70、後半80で、2人チーム戦は前半70で逆転勝利した。

ガイド

東日本・西日本シニア競技大会は毎年同日開催。今回は2大会計で43名のシニア選手が集まった。性別・年代で4部門が設定され、シニアは60歳以上、64歳、グランドシニアは65歳以上、2人チーム戦(2×6G)、個人戦(6G)の後、各種目の個人成績上の3名達成者となった。



トリプルクラウン



男子シニア

2人チーム戦は前半433で神奈川C(近江村)がトップ。3人チーム差でトップ。3人チーム差でトップ。

女子シニア

2人チーム戦は前半300台のチームが10チーという大激戦で、後半100と打ち上げた祐輔C(喜多)と戦ったが逆転勝利した。個人戦は前半70、後半80で、2人チーム戦は前半70で逆転勝利した。



女子シニア

2人チーム戦は前半300台のチームが10チーという大激戦で、後半100と打ち上げた祐輔C(喜多)と戦ったが逆転勝利した。個人戦は前半70、後半80で、2人チーム戦は前半70で逆転勝利した。

男子グランドシニア個人総合

2人チーム戦は前半300台のチームが10チーという大激戦で、後半100と打ち上げた祐輔C(喜多)と戦ったが逆転勝利した。個人戦は前半70、後半80で、2人チーム戦は前半70で逆転勝利した。



女子グランドシニア

2人チーム戦は前半300台のチームが10チーという大激戦で、後半100と打ち上げた祐輔C(喜多)と戦ったが逆転勝利した。個人戦は前半70、後半80で、2人チーム戦は前半70で逆転勝利した。

男子グランドシニア個人総合

2人チーム戦は前半300台のチームが10チーという大激戦で、後半100と打ち上げた祐輔C(喜多)と戦ったが逆転勝利した。個人戦は前半70、後半80で、2人チーム戦は前半70で逆転勝利した。

JBC公認 第3種審判員認定会

茨城で開催

平成28年度JBC公認第3種審判員認定会(茨城特別開催)が12月3日(土)4日(日)の両日、大宮ボウル工業店で開かれ、茨城県連盟の会員を中心に16名が受講した。2年後に茨城団体を結成、デスカッションなどを採り入れながら基礎的な技術研修を行い、ドリルのエキスパートを養成します。講師は協会審判部の日坂義人、リライと桐原孝太が務めます。この研修はJBC公認ドリライ有資格者が受講可能です。全カリキュラムを講義し、テストに合格すると「JBC公認第3種審判員」の称号が与えられます。

第72回国民体育大会ボウリング競技会 ブロック割当

ブロック名	都道府県名	男子	女子
北海道	北海道	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5	4
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	2
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	3
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	3	2
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	2
四国	香川、徳島、高知	2	1
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	5	4
開催地	(計)	1	1
		28	24

日本スポーツマスターズ2017兵庫大会 ブロック割当

ブロック名	都道府県名	男子	女子
北海道	北海道	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5	5
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	3
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	3	3
近畿	滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山	4	4
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	3
四国	香川、徳島、高知	2	2
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	5	5
開催地	(計)	1	1
		32	32

平成28年度 各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	競技	公認件数	開催回数	公認件数
北海道地区	北海道	33	83	5	
東北地区	青森	30	44		
	岩手	21	49		
	宮城	29	47		
	秋田	13	73		2
	山形	23	73		
関東地区	福島	19	18		
	茨城	20	42		1
	栃木	10	42		
	群馬	18	64		6
	埼玉	38	152		5
	千葉	19	39		30
	東京	29	91		16
	神奈川	32	71		29
北信越地区	新潟	11	15		
	長野	15	47		5
	富山	22	74		1
	石川	20	48		20
東海地区	福井	19	18		
	静岡	52	152		16
	愛知	61	202		5
	三重	36	51		
	滋賀	34	128		
関西地区	京都	50	75		
	大阪	42	48		9
	兵庫	24	58		26
	奈良	17	19		
	和歌山	15	16		
中国地区	鳥取	13	27		
	島根	8	19		2
	岡山	52	98		
	広島	14	14		6
	山口	14	32		23
四国地区	香川	20	32		1
	徳島	10	33		1
	高知	10	20		
九州・沖縄地区	福岡	45	118		75
	佐賀	9	11		11
	長崎	30	54		36
	熊本	15	29		56
	大分	31	64		13
	宮崎	23	27		24
	沖縄	22	54		26
全日本学生・社会人	計	1,153	2,565		455

第7回 西日本シニアボウリング競技大会 成績表

平成28年11月18日(金)～20日(日) 大阪・イグルボウル

男子シニア部門 75名、グランドシニア部門 66名、女子シニア部門 40名、グランドシニア部門 26名 合計 207名

《男子シニア》(50歳～64歳)	《男子グランドシニア》(65歳以上)	《女子シニア》(50歳～64歳)	《女子グランドシニア》(65歳以上)
2人チーム戦 (2×6G) 優勝 神奈川C 喜友名朝一・奥澤 盛喜 2,731 準優勝 大阪B 太田 政孝・堀谷 敏 2,712 第3位 沖 縄B 大城 安広・産間味明良 2,710 第4位 広島C 矢野 徹・神原 輝好 2,681 第5位 奈良 松本 勝治・堤 賢治郎 2,672 第6位 岡山D 藤井 進介・吉田 康 2,668	2人チーム戦 (2×6G) 優勝 岡山A 上芝 秀弘・高田 男 2,762 準優勝 京都A 内藤 隆・並河 包恭 2,747 第3位 岡山A 木村 堅司・森原 清恭 2,673 第4位 熊本A 出水 金貴・島田 登 2,640 第5位 兵庫A 橋本 敏・藪内 賢一 2,592 第6位 広島C 藤田 嘉敏・吉田 実 2,486	2人チーム戦 (2×6G) 優勝 岡山A 上芝 秀弘・高田 男 2,762 準優勝 京都A 内藤 隆・並河 包恭 2,747 第3位 岡山A 木村 堅司・森原 清恭 2,673 第4位 熊本A 出水 金貴・島田 登 2,640 第5位 兵庫A 橋本 敏・藪内 賢一 2,592 第6位 広島C 藤田 嘉敏・吉田 実 2,486	2人チーム戦 (2×6G) 優勝 岡山A 上芝 秀弘・高田 男 2,762 準優勝 京都A 内藤 隆・並河 包恭 2,747 第3位 岡山A 木村 堅司・森原 清恭 2,673 第4位 熊本A 出水 金貴・島田 登 2,640 第5位 兵庫A 橋本 敏・藪内 賢一 2,592 第6位 広島C 藤田 嘉敏・吉田 実 2,486

第7回 東日本シニアボウリング競技大会 成績表

平成28年11月18日(金)～20日(日) 神奈川・川崎グランドボウル

男子シニア部門 124名、グランドシニア部門 64名、女子シニア部門 50名、グランドシニア部門 28名 合計 266名

《男子シニア》(50歳～64歳)	《男子グランドシニア》(65歳以上)	《女子シニア》(50歳～64歳)	《女子グランドシニア》(65歳以上)
2人チーム戦 (2×6G) 優勝 神奈川A 川崎 孝一・村上 武男 2,662 準優勝 神奈川C 近江 雅久・村上 悦男 2,656 第3位 東京B 深川 辰夫・塩瀬 昭 2,644 第4位 愛知B 石川 信行・田中 正 2,629 第5位 東京A 木多 裕典・松原 聡 2,617 第6位 三重B 佐々木秀明・岡 安明 2,614	2人チーム戦 (2×6G) 優勝 神奈川D 土田 孝一・村上 武男 2,535 準優勝 群馬A 喜多 利春・松原美智雄 2,524 第3位 宮城 佐藤 節夫・荒谷 芳行 2,517 第4位 群馬B 中塚 良三・鎌田 政善 2,481 第5位 千葉D 中村 晴美・西林 康彦 2,467 第6位 神奈川B 宮戸 康次・高橋 賢二 2,462	2人チーム戦 (2×6G) 優勝 石川A 中村 邦子・大丸谷智子 2,266 準優勝 神奈川 川三 進子・宮戸 恵子 2,161 第3位 埼玉 吉田由美子・植竹 真子 2,327 第4位 福島 志賀 章子・鈴木 英子 2,294 第5位 神奈川B 田中しづ子・村上 知子 2,281 第6位 神奈川C 江添 真由・押切 理栄 2,272	2人チーム戦 (2×6G) 優勝 大丸谷 智子 (石川) 1,127 準優勝 有田 登美子 (石川) 1,118 第3位 中村 邦子 (石川) 1,116 第4位 三武 逸子 (神奈川) 1,084 第5位 澤田 順子 (宮城) 1,082 第6位 木村 隆子 (千葉) 1,068

平成28年12月1日以降登録者

【特別個人入会】
△秋田県 金田勝(連盟)
△長、佐藤順(、北陽)
△長、半田貞夫、同理事 藤原、伊藤、菅原
△長、有目浩嗣(同理事)

第49回

全日本実業団選手権大会

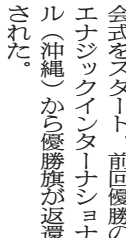
トヨタ自動車(愛知)

王座奪還



第49回全日本実業団選手権大会は11月25日(金)から27日(日)まで東京・東大和グランドボウル(公認No.113・112)で開催。全国から54チームが集まり5人チーム戦で優勝を争った。

一昨年度に優勝と実業団グランドスラムを達成したトヨタ自動車(愛知)が安定感ある試合運びを見せ、前回王者のエナジックインターナショナル(沖縄)を抑えて優勝。2年ぶり6度目の大会制覇を成し遂げた。



場協議会理事でもある会場提供の(株)グランドボウル・里見隆常務取締役が歓迎のことばを述べられた。

競技規程説明・認証報告と審判団の紹介に続き、東京都・大田区役所の平山大輔選手が選手宣誓を行い、開会式を滞りなく終了した。

予選1回戦、桑名市役所(三重)が驚異的なスコアをたたき出した。最初の3ゲームを100台に乗せて迎えた3ゲーム目に1276をマーク。トータルを3050まで伸ばした。エナジックインターナショナル(沖縄)と日新電機A(京都)も3000

台を出したが、大会チームハイゲーム・ハイシリーズにもなる高得点の桑名市役所にいきなり大量リードを許してしまつた。

2回戦では1回戦のトップ4がそろってスコアを伸ばせなかったが、桑名市役所は2位の日新電機Aに依然233のリードを保っていた。大勢が動いたのは3回戦。4位につけていたトヨタ自動車A(愛知)が3ゲーム目に1215と打ち上げて33315。

このシリーズでもスコアが伸びなかつた桑名市役所を一気に抜き去り、トップ通過を決めた。桑名市役所は45ピン差で2位、さらに66ピン差で3位にエナジックインターナショナルと続いて決勝戦に突入した。



入賞チーム

第49回全日本実業団ボウリング選手権大会成績表

平成28年11月25日(金)～27日(日) 会場：東京・東大和グランドボウル

5人チーム戦(5×12G)

優勝	トヨタ自動車A(愛知)	阿部広知・本多悟・宗本弘三・松岡富綱・嘉指康之	12,670
準優勝	エナジックインターナショナル(沖縄)	備前光博・大見剛翔・石嶺可奈子・幸喜将太・村濱裕紀	12,526
第3位	桑名市役所(三重)	庄瀬智大・米山裕紀・串田綾香・小椋達也・柳川弘行	12,467
第4位	呉市役所(広島)	岡田俊徳・加藤めぐみ・谷口菜子・岡田なつ紀・大同明日	12,450
第5位	日本精工(神奈川)	斎藤祐太・小林猛・原田保男・瀬戸優也・村上悦男・中川和紀	12,334
第6位	北陸電力A(石川)	渡邊元達・木谷哲也・渡邊純乃・安田昌樹・田中稔也	12,206

個人男子(9G)

第1位	斎藤祐太(神奈川・日本精工)	2,203
第2位	春田 恒平(茨城・日立製作所)	2,112
第3位	幸喜 将太(沖縄・エナジックインターナショナル)	2,069

個人女子(9G)

第1位	夏目 美和(愛知・デンソーA)	1,919
第2位	加藤めぐみ(広島・呉市役所)	1,856
第3位	串田 綾香(三重・桑名市役所)	1,830

ハイゲーム・ハイシリーズ

チームハイゲーム	桑名市役所(三重)	庄瀬智大・米山裕紀・串田綾香・小椋達也・柳川弘行	1,276
チームハイシリーズ	桑名市役所(三重)	庄瀬智大・米山裕紀・串田綾香・小椋達也・柳川弘行	3,505

個人Mゲーム	清水 正弘(石川・金沢市役所)	299
個人ハイシリーズ	斎藤祐太(神奈川・日本精工)	816



個人女子



個人男子

ガイド

年間3大会が行われる実業団界の中でも、最高権威とされているのが全日本実業団選手権大会。スポーツボウリングの伝統的な競技方式である5人チーム戦で優勝を争う。

5人×9ゲームの予選を行い、上位28チームが決勝に進出。さらに3ゲームを行い、予選からのトータルピンで順位を決定する。

トヨタ自動車は2年ぶりの優勝。前回は同年度の産業別選手権、都市対抗選手権も制して実業団グランドスラムを達成している。実業団選手権では第2回大会(1970年)に初優勝を飾っており、今回で6度目の栄冠となった。



チームH/G/H/S桑名市役所

ゲームでも逆転があり得る状況の中、トヨタ自動車Aはまず1090をマークした。エナジックインターナショナルは1077でわずかに差を広げられたかに、桑名市役所は998に留まり3位に後退したが、2ゲーム目は1067と立て直した。一方エナジックインターナショナルはこのゲームでマイナスイツに再び3位に。トヨタ自動車Aは苦戦しながらも何とか1000台に乗せた。

最終ゲームを前にして11596のトヨタ自動車Aに対し、73ピン差の桑名市役所は944と伸びずに逆転できず、1577ピン差のエナジックインターナショナルも2連覇を目指して再び打ち上げたが1087。トヨタ自動車Aは1074にまとめてトップを守り抜き、2年ぶり6度目の優勝を果たした。

JBC会長杯

第32回全日本年齢別ボウリング選手権大会

2017.2.10(金)▶12(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 公益財団法人 静岡県体育協会
全国ボウリング公認競技場協議会
静岡県ボウリング公認競技場協議会
主管 静岡県ボウリング連盟

ボウルアピア静岡

〒422-8001 静岡県静岡市駿河区中吉田15-8
TEL 054-261-7271 FAX 054-264-6413

第34回

全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会

2017/2/3(金)▶5(日)

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 全国ボウリング公認競技場協議会 岐阜県ボウリング公認競技場協議会
主管 全日本実業団ボウリング連合 岐阜県ボウリング連盟

岐阜グランドボウル

〒501-0223 岐阜県瑞穂市穂積1676 TEL 058-326-5122
http://www.gifu-grand-bowl.com/

第14回アジアシニアボウリング選手権大会

参加8の国と地域 198名(男子110・女子88) 2016.11.22~29 大韓民国・Dong Seoul Grand Bowling Center

○男子シニア部門	
《シングルス戦》6G	
優勝	JANG RANG HEAN(大韓民国)
準優勝	JOUNG MYONG JIN(大韓民国)
第3位	飯田 剛(日本・三重)
第11位	前田 知一(日本・石川)
第13位	市川 明浩(日本・京都)
第15位	加地 正敏(日本・兵庫)
第19位	大久保 信孝(日本・埼玉)
第22位	黒 幸作(日本・北海道)
第23位	黒 幸作(日本・北海道)
第25位	河合 泰幸(日本・大阪)
第26位	河合 泰幸(日本・大阪)
第28位	武石 康之(日本・富山)
第30位	石塚 孝幸(日本・埼玉)
第32位	沼上 幸和(日本・埼玉)
第37位	沼上 幸和(日本・埼玉)
第41位	水野 明男(日本・東京)
第49位	小比類巻 正昭(日本・青森)

《ダブルス戦》2×6G	
優勝	大韓民国
準優勝	日本(石塚・鈴木)
第3位	大韓民国
第8位	日本(久保・河合)
第11位	日本(加地・前田)
第15位	日本(永賀・沼上)
第16位	日本(大西・黒畑)
第19位	日本(市川・武田)
第21位	日本(飯田・山西)
第22位	日本(小比類巻・水野)

《4人チーム戦》4×6G	
優勝	日本(加地・前田・久保・河合)
準優勝	大韓民国
第3位	大韓民国
第5位	日本(市川・武田・小比類巻・水野)
第8位	日本(飯田・山西・石塚・鈴木)
第9位	日本(永賀・沼上・大西・黒畑)

《オールイベント》18G	
第1位	JANG RANG HEAN(大韓民国)
第2位	JOUNG MYONG JIN(大韓民国)
第3位	前田 知一(日本・石川)
第10位	加地 敏浩(日本・兵庫)
第15位	久保 信孝(日本・埼玉)
第17位	河合 泰幸(日本・大阪)
第18位	飯田 剛(日本・三重)
第21位	市川 明浩(日本・京都)
第23位	黒 幸作(日本・北海道)
第25位	武石 康之(日本・富山)
第27位	石塚 孝幸(日本・埼玉)
第29位	沼上 幸和(日本・埼玉)
第30位	大久保 信孝(日本・埼玉)
第34位	小比類巻 正昭(日本・青森)
第37位	沼上 幸和(日本・埼玉)
第38位	沼上 幸和(日本・埼玉)
第43位	水野 明男(日本・東京)

《マスターズ戦》16G⇒上位2名による優勝決定戦	
優勝	JANG RANG HEAN(大韓民国) 227
準優勝	YOUNG JONG KUK(大韓民国) 212
第3位	前田 知一(日本・石川) 3,865
第5位	加地 敏浩(日本・兵庫) 3,716
第6位	久保 信孝(日本・埼玉) 3,662
第7位	河合 泰幸(日本・大阪) 3,652

○女子シニア部門	
《シングルス戦》6G	
優勝	吉田 由美子(日本・埼玉)
準優勝	LEE MI SOOK(大韓民国)
第3位	CHO YOON OK(大韓民国)
第7位	柳川 穂波(日本・三重)
第8位	鳥谷部 エイ子(日本・青森)
第18位	宮倉 祐子(日本・島根)
第21位	宮倉 祐子(日本・島根)
第23位	金高 智恵子(日本・新潟)
第26位	高 智恵子(日本・新潟)
第28位	高 智恵子(日本・新潟)
第29位	竹 佐知子(日本・広島)
第37位	本 川 曜子(日本・長崎)

《ダブルス戦》2×6G	
優勝	大韓民国
準優勝	大韓民国
第3位	大韓民国
銅メダル	日本(宮倉・吉田)
第9位	日本(金高・鳥谷部)
第10位	日本(高木・竹本)
第14位	日本(柳川・吉川)
第26位	日本(奥・菊川)

《4人チーム戦》4×6G	
優勝	日本(宮倉・吉田・柳川・吉川)
準優勝	大韓民国
第3位	大韓民国
第5位	日本(高木・竹本・金子・鳥谷部)
第9位	日本(奥・菊川・田中・三宅)

《オールイベント》18G	
第1位	吉田 由美子(日本・埼玉)
第2位	LEE MI SOOK(大韓民国)
第3位	LEE HWA JA(大韓民国)
第12位	柳川 穂波(日本・三重)
第14位	鳥谷部 エイ子(日本・青森)
第16位	宮倉 祐子(日本・島根)
第17位	宮倉 祐子(日本・島根)
第19位	竹 佐知子(日本・広島)
第20位	金高 智恵子(日本・新潟)
第21位	高 智恵子(日本・新潟)
第32位	高 智恵子(日本・新潟)
第37位	菊 曜子(日本・長崎)

《マスターズ戦》16G⇒上位2名による優勝決定戦	
優勝	吉田 由美子(日本・埼玉) 238
準優勝	鳥谷部 エイ子(日本・青森) 191
第3位	CHO YOON OK(大韓民国) 3,552
第5位	柳川 穂波(日本・三重) 3,429
第7位	宮 倉 祐子(日本・島根) 3,397

○男子グランドシニア部門	
《シングルス戦》6G	
優勝	KIM JONG TUCK(大韓民国)
準優勝	真神 嶺秀(日本・京都)
第3位	松井 正信(日本・大阪)
第5位	松井 正信(日本・大阪)
第6位	神 祐己(日本・徳島)
第7位	幸 祐己(日本・徳島)
第8位	幸 祐己(日本・徳島)
第9位	岩 井 孝(日本・富山)
第11位	前田 知一(日本・石川)
第12位	鈴木 隆博(日本・三重)
第15位	高 智恵子(日本・新潟)
第16位	高 智恵子(日本・新潟)
第22位	西 林 中(日本・千葉)
第29位	林 中(日本・千葉)
第35位	別 役 俊(日本・高知)
第46位	板 垣 幸吉(日本・静岡)

《ダブルス戦》2×6G	
優勝	大韓民国
準優勝	日本(松井・真神嶺)
第3位	日本(松井・真神嶺)
第7位	日本(松井・前田)
第8位	日本(西・林)
第10位	日本(田中・坂垣)
第12位	日本(小・石)
第21位	日本(高木・竹本)
第27位	日本(鈴木)

《4人チーム戦》4×6G	
優勝	日本(松井・岩井・神下・菊川)
準優勝	日本(松井・真神嶺・高田・別役)
第3位	大韓民国
第5位	日本(田中・坂垣・西林・前田)
第12位	日本(小・石・幸林)

《オールイベント》18G	
第1位	KIM JONG TUCK(大韓民国)
第2位	松井 正信(日本・大阪)
第3位	松井 正信(日本・大阪)
第4位	岩 井 孝(日本・富山)
第6位	真神 嶺秀(日本・京都)
第7位	幸 祐己(日本・徳島)
第8位	幸 祐己(日本・徳島)
第11位	岩 井 孝(日本・富山)
第14位	前田 知一(日本・石川)
第16位	鈴木 隆博(日本・三重)
第17位	高 智恵子(日本・新潟)
第18位	高 智恵子(日本・新潟)
第20位	高 智恵子(日本・新潟)
第24位	高 智恵子(日本・新潟)
第35位	別 役 俊(日本・高知)
第37位	板 垣 幸吉(日本・静岡)

《マスターズ戦》16G⇒上位2名による優勝決定戦	
優勝	松井 正信(日本・大阪) 236
準優勝	KIM JONG TUCK(大韓民国) 214
第3位	岩 井 孝(日本・富山) 3,761
第4位	真神 嶺秀(日本・京都) 3,750
第5位	神 祐己(日本・徳島) 3,673

○女子グランドシニア部門	
《シングルス戦》6G	
優勝	中 ヒロ子(日本・福井)
準優勝	JANG AE SIM(大韓民国)
第3位	田 中 和子(日本・北海道)
第6位	中 谷 晴美(日本・大阪)
第8位	中 谷 晴美(日本・大阪)
第11位	唐 美佐子(日本・埼玉)
第13位	高 板 正子(日本・愛知)
第16位	高 板 正子(日本・愛知)
第17位	小 池 元子(日本・京都)
第18位	小 池 元子(日本・京都)
第31位	三 宅 伸子(日本・大阪)

《ダブルス戦》2×6G	
優勝	大韓民国
準優勝	日本(茶谷・久慈)
第3位	オーストラリア
第5位	日本(中・坂垣)
第7位	日本(唐津・小池)
第8位	日本(唐津・小池)
第10位	日本(濱元・高本)

《4人チーム戦》4×6G	
優勝	日本(茶谷・久慈・唐津・小池)
準優勝	大韓民国
第3位	大韓民国
第4位	日本(中・坂垣・濱元・高本)
第9位	日本(田中・三宅)

《オールイベント》18G	
第1位	JANG AE SIM(大韓民国)
第2位	茶 谷 晴美(日本・大阪)
第3位	久 慈 順子(日本・岩手)
第4位	中 谷 ヒロ子(日本・福井)
第5位	中 谷 ヒロ子(日本・福井)
第7位	中 谷 ヒロ子(日本・福井)
第11位	高 板 正子(日本・愛知)
第17位	高 板 正子(日本・愛知)
第20位	高 板 正子(日本・愛知)
第21位	高 板 正子(日本・愛知)
第25位	三 宅 伸子(日本・大阪)

《マスターズ戦》16G⇒上位2名による優勝決定戦	
優勝	久 慈 順子(日本・岩手) 174
準優勝	中 谷 ヒロ子(日本・福井) 147
第3位	茶 谷 晴美(日本・大阪) 3,268
銅メダル	JANG AE SIM(大韓民国) 3,191
第11位	田 中 和子(日本・北海道) 2,810

女子シニアシングルス戦



女子シニア4人チーム戦



女子シニアオールイベント



男子シニア4人チーム戦



女子グランドシニア4人チーム戦



女子グランドシニアシングルス戦



女子シニア

吉田由美子(埼玉)は今年、5種目中4種目で金メダル獲得の快挙を遂げた。最初の種目となったシングルス

ス戦は、アベレージ23.7の快投で2位に1.92ピン差をつけて優勝しました。4人チーム戦は宮倉祐子(島根)、柳川穂波(三重)、吉川朋子(三重)と吉田の4人で金メダル。こども吉田はポイントゲッターとして活躍しました。シングルス、ダブルス、4人チームの個人スコアによる

男子シニア

テレビ決勝として行われた優勝決定戦。1ゲーム勝負のこの場面でも吉田は23.7をたたき出し、191の鳥谷部に勝利しました。

シングルスは飯田剛(三重)が銅メダル、ダブルスは石塚孝幸(埼玉)・鈴木隆博(三重)が銀メダルと、金メダルに1歩届かなかった日本の勢ですが、4人チーム戦では加地敏浩(兵庫)・前田知一(石川)・久保信行(佐賀)・河合泰幸(大阪)のチームが地元韓国の追い上げをかわして優勝を果たしました。オールイベントとマスターズ戦では、前田知一(石川)が3位で銅メダルを獲得しました。

女子グランドシニア

・小池和美(京都)チームが、序盤大量リードされながらも大逆転で金メダルを手に入れました。

オールイベントでは茶谷が銀メダルを獲得し、迎えたマスターズ戦ではトップ3を日本勢が独占の快挙。優勝決定戦は久慈と中の対決となりましたが、アジアシニアで数々の実績を誇る久慈が優勝を

男子グランドシニア

果たし、中が銀メダル。茶谷も銅メダル獲得となりました。

準優勝で、松井・真神嶺ペアが3位に。残るは金メダルという状況で迎えた4人チーム戦では、日本勢の2チームがシューティングゲームの優勝争いを展開。松井・岩井・神下克己(徳島)・菊川隆行(長崎)チームが優勝し、松井・真神嶺・高田勇(京都)・別役壽章(高知)も銀メダルを獲得しました。

ガイド

アジアシニア選手権大会は、2年に一度開催されるアジア地域のシニアボウリングによる競技大会。男女別・年代別で4部門に分かれて競技を行います。今大会から年齢区分を変更し、シニア部門は50・64歳、グラントシニア部門は65歳以上と設定されました。

メダル種目はシングルス戦、ダブルス戦、4人チーム戦、オールイベント、マスターズ戦の5つ。国際交流の目的もあるこの大会では、1つの国がメダルを独占した種目は、他国の最上位チームにも銅メダルが授与されます。

大会中に開催されたアジアシニアボウリング評議会会議において、次回大会(2018年)は日本・沖縄での開催が決定しました。これまで1993年(京都)・1999年(東京)・2007年(三重)に日本開催が実現しており、次回で4回目となります。

パーフェクトも続出

大会中に達成された4つのパーフェクトは、すべて日本選手によるものでした。

- 大会第1号 飯田 剛 (三重)
- 大会第2号 黒畑 幸作 (北海道)
- 大会第3号 加地 敏浩 (兵庫)
- 大会第4号 鳥谷部エイ子 (青森)

男子グランドシニア4人チーム戦

ききました。この部門は5種目とも日本勢が2つのメダルを獲得する強さでした。

10/20個の金メダル独占



女子シニアマスターズ戦 吉田(左)が個人種目コンプリート



女子グランドシニアマスターズ戦 日本が表彰台独占

第14回

アジアシニア選手権大会

下地賀寿守監督の ボウリングキャラバン

鳥取・広島・沖縄で開催

全日本ナショナルチームの下地賀寿守監督による出張レッスン「ボウリングキャラバン」が、鳥取、広島、沖縄の3会場で開催されました。下地監督の明る

くわかりやすいアドバイスが好評の特別レッスン。投球の基礎となる助走の確認や、ボウラーのためのストレッチ方法など、初心者から上級者まで、誰にでも役立つ上達のポイントをレクチャーしました。

全日本ナショナルチームメンバーもゲスト参加し、

2月は長崎・宮崎へ今年度のボウリングキャラバンは、長崎と宮崎でも開催します。参加ご希望の方はお早めにお申込ください。



12月10日(土)の鳥取会場(鳥取スタジアム)、11日(日)の広島会場(広島スタジアム)、12日(月)の沖縄会場(沖縄県立体育館)で、下地監督がサポーターとして参加しました。

INFORMATION



国別対抗戦も日本が優勝



男子グランドシニアマスターズ戦 松井(左)が有終の金

第14回アジアシニア選手権大会が11月22日(火)から29日(火)にかけて、韓国・ソウルで開催されました。4部門×5種目でメダルを争うシニアボウラーの一大トーナメントで、日本勢が全種目メダル獲得の大活躍。特に金メダルは半数の10個を独占し、国別対抗優勝も果たしました。【詳細は8面に】

熊本地震災害義援金

順不同・敬称略
2016年11・12月

第45回全国都道府県対抗選手権大会	9,090
第54回全日本大学選手権大会	10,938
第7回東日本シニア競技大会	7,102
第49回全日本実業団選手権大会	15,699
岩手県ボウリング連盟	52,641
合計	95,470

▽宮崎会場
2月19日(日) 宮崎エース
参加費は無料、各会場定員50名になり次第締め切ります。申込方法など詳細は協会ホームページ(www.jbc-bowling.or.jp)をご覧ください。

ABS は JBC のオフィシャルサプライヤーです。

ナショナルメンバーのウエアはABSが提供させていただきます

新畑雄飛 選手

泉宗心音 選手



第45回全日本クラブ対抗 ボウリング選手権大会

2017年1月20日(金)～22日(日)

ボウルアピア郡山

〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11-7
TEL 024-922-7272 FAX 024-922-7273

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 公益財団法人 福島県体育協会
郡山市 郡山市体育協会
全国ボウリング公認競技場協議会
福島県ボウリング公認競技場協議会
主管 福島県ボウリング連盟